

巻	頁	場所	誤	正
1上	139	⑩マダムバタフライ	アウトオブバランスから派生するような記述があるが下部から繋げて登るのが正しい	アウトオブバランスの右4mが取付。出だし直後のアンダーフレークにF2.5/C0.5をセットすれば安全。その上のプロテクションまで行く前に落ちるとグラウンドフォールする。中間部のバンドのボルトを左から回れば5.10a、右を回れば5.10+で次のボルトが遠くなるので要注意。 FA:深沢道広・河村志乃武
1上	238	①むささびルート～	☆マーク欠落	☆☆
1上	268	④レゴ	FA:竹本俊文	FA:竹本俊博
1上	268	⑥平行線	FA:今川清和	FA:今井清和、北川勇人
2中	47	14行目	南場亨介	南場亨祐
2中	47	21行目 22行目	鷺津山 鷺津山	鷺津山 鷺津山
2中	68	④Long Long 小川山	FA:記載なし FA:岡部光彦氏・2007年8月15日	FA:岡部光彦
2中	82	④ファン・ファン・ファン	説明文の末尾に右欄の追記を加える	2024.6に初登者が1ピッチ目、2ピッチ目に新たにボルトアンカーを設置。草や苔なども除去され登りやすくなった。
2中	115	(E) 2行目	脚立 *脚立とは自立するもの	梯子
2中	141	①ただのハング ルート名	①ただのハング	①ロマンシング・ストーン
2中	141	①ただのハング	①ただのハング	①ロマンシング・ストーン FA時は現在のスタート場所が1本目のボルト 2001年8月の大雨の際に土砂により埋まったもの。当初の長さは12mあった FA:不明
2中	148	アプローチの項	八幡沢右岸スラブ	八幡沢左岸スラブ
2中	154	アプローチの項 2.	脚立の場所まで来たら、脚立手前	梯子の場所まで来たら、梯子手前
2中	155	③アスレチック・クラブ24行目	脚立	梯子
2中	155	①トロイメライ 1行目	脚立	アルミの梯子
2中	158	アプローチの項 6. 7. 8.	脚立 4箇所	梯子 梯子 梯子 梯子
2中	159	①トロイメライ 1行目	脚立	梯子
2中	159	③Trial & Error 1行目	アルミの脚立	梯子
2中	184	⑨レベッカへの鍵	説明文全部入れ替え ルーフ上 → ルーフ状 ボルト欠損 → 2024年にリボルトされた	ラインは⑨「水曜日のシンデレラ」右の大きなルーフ状の洞穴。下部は脆いルーフ帯、上部はかぶり気味のコーナーを登るもの。核心部の意表を突くようなムーブが、ドイツ軍の暗号を解読するような難しさから「レベッカへの鍵」と名付けたそう。2022年の調査時には3本目のボルトが欠損していたが、2024年にリボルトされた。FA:中根穂高
2中	210	下から3行目	「ROCK & sNOW」	「ROCK & SNOW」
2中	212	上から2行目	高さ	高さ
2中	256	最下段 写真説明	ゲンコウ	▲ゲンコオ
3下	67	⑥ツイスト	FA:竹本俊博 以外全文	1984年4月30日、このスラブに初めて引かれたラインは登りながらボルトを打つグランドアップのスタイルで初登された。そのルートがこのツイストである。1本目ボルトクリップ後、トラバサして越境者と交差し、更に右端まで進み2本目のボルトにクリップし、核心を越えてから越境者に合流する。当時はボルト2本だけで岩塔最上部の木まで登っていた。
3下	69	図	図ではTwist var.となっているラインがツイストの正規ライン。バージョンは存在しない。	Twist var.の上に ⑥ツイスト を貼る
3下	77	③かたつむり 2行目	創世記	創成期
3下	111	④トランキライザー 1行目	「南陵レモンルート」	「南稜レモンルート」
3下	111	⑧ジェリーフィッシュ 1行目	「メルトダウン」 全文入れ替え	⑨「メルトダウンダイレクト」と同スタート。2本目のボルトから左に出て、ホールドの豊富なフェースから核心部となる左カンテに繋ぐ。ムーブ、ラインの読みと変化に富んだ好ルート。2022年夏、筆者によりリボルト、再生され生まれ変わっている。FA:内藤直也